

Work**CAN**'s Beer Project

取組みの概要

2021年5月25日



1 概要

生きている喜びを心から実感できるビール。

がんなどの様々な事情を抱える人たちが喜びを実感できるように。
コロナの中、不安を抱える人たちが生きていく喜びを取り戻せるように。

そんなビールを、

趣旨に賛同するWorkCAN'sのメンバーを中心に
社会の中で同じような思いを持つ人たちをさらに巻き込み、
サッポロビールのHOPPIN' GARAGEの枠組みを活用して、
一緒につくります。

2 目的

切実な思いを持ちながら生きる人たちに寄り添えるビールを当事者同士で一緒につくり、提供するプロセスを通じて、

- (1) 関わる人たちに、繋がり、一緒に進むことの喜びや心からのおいしさを実感してもらうことで、生きていく上での希望や安らぎを提供する。
- (2) 社会全体に新しい繋がりや創造のあり方を発信し、多様な人たちが率直に思いを語り合い、活力が生まれるような、よりよい社会づくりに貢献する。

WorkCAN's Beer Project



3 背景

(1) Can Starsの発足宣言から

私たちは、人生にはつらいことがあることを身をもって知っています。
でも、私たちは、生きることの素晴らしさも心から実感しています。
そんな私たちだからこそできることがあると信じています。
☆のもとに、がんを経験した社員の思いをつなげて。

Can Stars
2019年3月26日、スタートです。



上記はCan Starsの発足宣言だが、
最初の3行はWorkCAN'sのメンバーもきっと同じはず。
同じような思いの人をさらにつなげ、今回のビールづくりに活かしたい！

3 背景

(2) 「GANNOMI」(がん飲み) 実施の経緯から

- ・2019年6月、都内の銀座ライオンで開催した、がんサバイバーを中心とした飲み会「GANNOMI」は、参加者一同、ビールやソフトドリンクを手に、大変な盛り上がりとなった。
- ・「がんを経験すると『飲んじゃいけない』と思われて飲み会にも誘ってもらえなくなるけれど、がんを経験した人がお酒を飲みながらがんのこと、それ以外のことを楽しく語る場があってもいいじゃないか」と発案した社外のがんサバイバーたちから、場所取りの依頼を受けての開催だった。
 - ※当日は、「がん罹患後の飲酒の可否は主治医の判断に従ってください」の文言を掲示。
- ・当日の盛り上がりの模様はドキュメンタリー番組でも「がんで繋がる」の冒頭にも取り上げられ、視聴した多くのがんサバイバーに生きる喜びの一端を提供できたと受け止めている。



がんサバイバーが生きている喜びを分かち合うには、ノンアルコールでよいのかもしれない。
けれども、がんとお酒は一見結びつきにくく、遠ざけられがちな面もあるからこそ、
上記のことを踏まえて今回、生きている喜びを実感できる「ビール」をつくりたい思いがある。

WorkCAN's Beer Project



3 背景

(3) HOPPIN' GARAGE (ホッピングガレージ) の枠組みから



**HOPPIN'
GARAGE**
BREW
YOUR IDEA

<https://www.hoppin-garage.com/>

目指す世界

誰もがもっと自由にビールを通じて表現できる世界へ

※その第一歩として「共創によるビールづくり」という新しい仕組みをサステナブルな形で社会に実装する。

ブランドステートメント

できたらいいな。を、つくろう。

ただ飲むだけが、ビールじゃない。

HOPPIN' GARAGE (ホッピングガレージ) は、
ビールをもっと楽しむための、新しい体験に出会える、
みんなのガレージです。

活動のポイント

・共創によるビールづくり

20品の試作品が完成、8品が商品化

・裾野の広いビールコミュニティづくり

500回近いイベントを実施し、5,000名の方が参加

・新しいビール体験（コト）づくり

ブルワラーとのビールづくりに加え、ビール好き同士のマッチング、ビールを学べる講座、
その他オンラインイベントなど、新しいビールの楽しみ方を提供。

3 背景

(4) WorkCAN's (ワーキャンズ) について

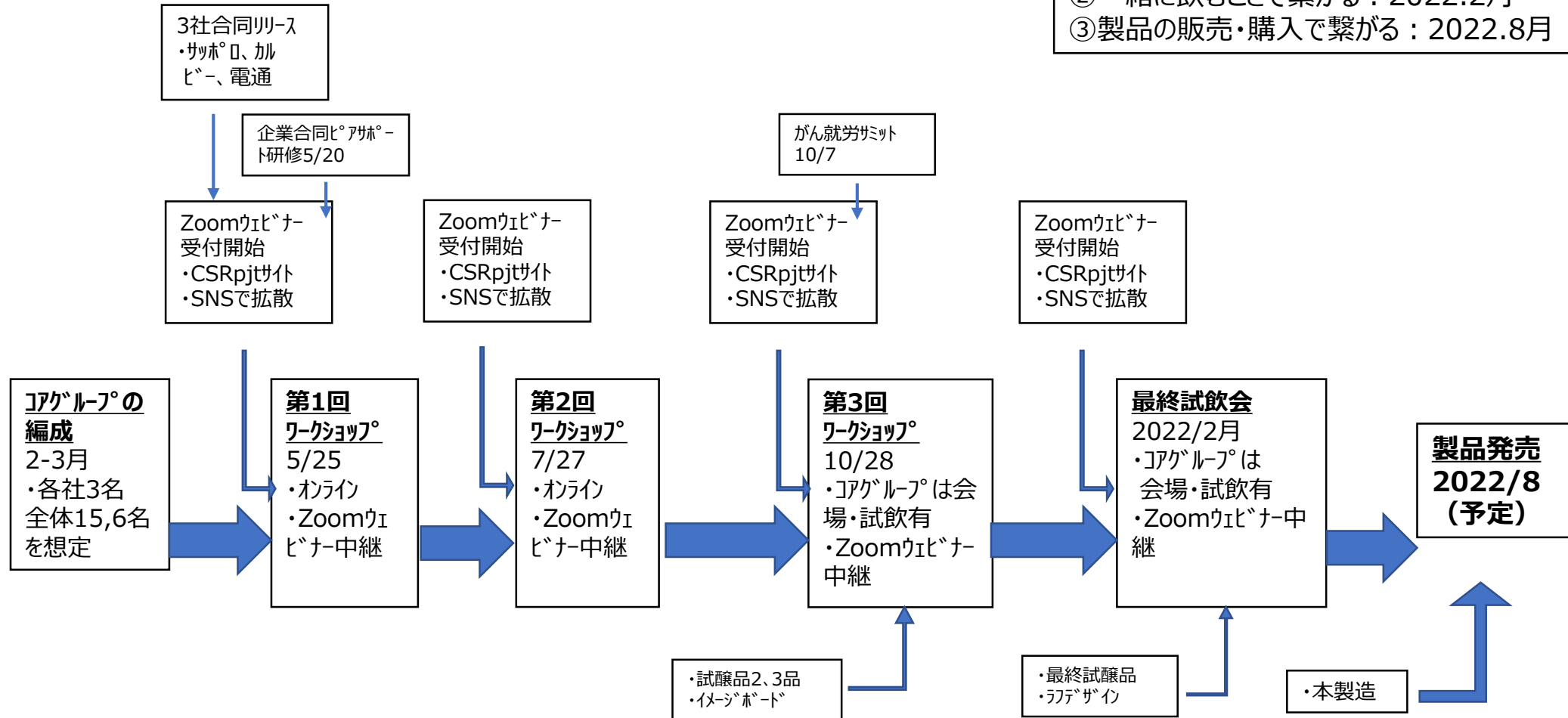
- ・「働くがんサバイバー」を表すと共に、一般社団法人CSRプロジェクト（*）を中心に企業等の有志が参加する「企業内ピアサポーターの育成の取組み」のことでもある。
- ・* CSRプロジェクトの「CSR」は「Cancer Survivors Recruiting」の略でがん患者の就労支援に取り組んでいる。
- ・入会規則等を伴う正式な組織体ではなく、同じ志を持つ仲間の部活的な運動体。
- ・昨年9月には意気投合した4社で企業合同ピアサポート研修（*）を開催し、合同リリースも発信。
- ・本年は一層多くの企業等を巻き込み、第2回企業合同ピアサポート研修を開催し、秋には「がん就労サミット」を開催予定。
- ・今回のビールづくりは、社会的なイパ外からも、WorkCAN'sの課外活動として位置づけ、取り組むこととした。

WorkCAN's Beer Project



4 進め方の骨子

☆全体像



WorkCAN's Beer Project



5 ワークショップの具体的な運営

- ①具体的な議論を行う場として、3回のワークショップを開催します。
- ②ワークショップは**Zoomウェビナー形式**で開催。コアメンバーは「パネリスト」として議論します。
その模様を公開し、事前申込の一般視聴者の意見をチャットで取り入れながら進めます。
- ③第3回は試作品試飲を伴うので集合開催とします。
但しコロナ状況により、同一地域で4人以内ずつ分散しての開催とします。
- ④各回75分程度を想定。終了後、コアメンバーのみで今回と次回の確認を行います。

	ワークショップ	時期	構成	具体的内容・進め方（案）
1	第1回ワークショップ	5/25（火） 18:30－	導入 意見交換	・開催趣旨、進め方 ・自己紹介：参加動機、期待すること ・このプロジェクトに期待すること ・どんなビールをつくりたいか（ざっくり全体イメージ）
2	第2回ワークショップ	7/27（火） 18:30－	導入 意見交換	・技術者から：ビールづくりの前提知識・情報等 ・どんなビールをつくりたいか 中味、原料、ネーミング、デザイン等を少し具体的に
3	第3回ワークショップ	10/28（木） 18:30－	導入 意見交換	・前回まとめ～イメージボードと中味試作品提示 ・改善点、新しい切り口等。 ・中味試作品の方向性絞り込み（2, 3品の中から） ・まとめ

6 ワークショップのグラウンドルール（コアグループ・視聴参加者共通）

素晴らしいビールを、思いをつないでつくっていくために

- ①率直に 思ったことは遠慮せず
- ②楽しもう 肩肘張らず前向きに
- ③みな仲間 内輪はなしでオープンに

WorkCAN's Beer Project



7 第1回ワークショップの進行について

	項目	内容	時刻	時間	備考
1	開会	・開会宣言	18:30	0.05'	
2	企画概要説明	・全体概要説明 ・HOPPIN' GARAGE説明	18:35	0.10' 0.05'	サッポロ村本 サッポロ土代
3	コアグループ自己紹介	・自己紹介 ・参加動機 ・どんなビールをつくりたいか	18:50	0.15'	・1人1分程度
	チャット紹介	・ここまでを一旦紹介	19:05	0.05'	チャット係から
	フリーディスカッション	・どんなビールをつくりたいか	19:10	0.33'	・ビールに関するエピソードや 思いを自由に。 ・チャット紹介も随時
4	クロージング	・次回紹介	19:43	0.02'	・技術者の講義、中味や デザイン・ネーミング等の議論


※終了後、視聴者にはアンケート実施。

WorkCAN's Beer Project

☆注意！

がんなどの病気を罹患後のアルコール摂取の可否については
主治医の判断に従ってください



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

思いをつなぎ、
心からおいしいビールを
みんなで作っていきましょう！